

目標	・身近に見られる動植物を比べながら調べ、生物を愛護する態度を育てるとともに、生物の成長のきまりや体の作りなどの見方や考えを養う。 ・光 電気 磁石を働かせたときの現象を比較して調べ、それぞれの性質についての見方や考え方を養う。 ・日なたと日かげの地面を比べ、太陽と地面の様子との関係についての見方や考え方を養う。	
学期	学習内容・到達目標	学習内容・到達目標
前期	<b>1 自然を見つめよう</b> ・身近な自然に触れたり、比べたりすることで生まれるいろいろな不思議を調べていくことに興味・関心を持ち、理科への期待感をもつ。 <b>生き物を観察するとき</b> ・観察の視点、虫眼鏡の使い方や観察カードのかき方を身につける。 ・タンポポを探して、色、形、大きさの視点で観察し、記録する。 <b>いろいろな生き物</b> 春の野原や校庭に出てタンポポ以外の植物や動物について観察す <b>2 植物を育てよう(1)</b> <b>植物のたね</b> ・自分がまいて育てる植物の種子を、虫眼鏡などを使って観察する。 ・子葉が出たあとの植物の様子を観察し、芽生えのころと子葉のころとの成長の様子を比較する。 <b>植物の体のつくり</b> ・いろいろな植物の葉や茎、根の様子を観察する。	<b>7 光とかがみ</b> ・鏡を使って光をはね返して、的当て活動を行う。 ・光の道筋をつかって、光の進み方を調べる。 <b>光を重ねたとき</b> ・鏡1枚ではね返して光を当てたところと3枚の鏡で重ねて当てたところの、明るさとあたたかさを比べる。 <b>虫めがね</b> ・虫眼鏡で紙の上に光を集め、明るさやあたたかさを調べる。
	<b>3 チョウを育てよう</b> ・モンシロチョウの卵や幼虫を飼育しながら継続観察し、成長の様子を調べる。 <b>トンボやバッタ、カブトムシの育ち方</b> ・チョウ以外の昆虫の育ち方を調べ、チョウの育ち方と比較する。 <b>4 風やゴムで動かそう</b> <b>風の力</b> 風の力は、物を動かすことができ、風の力の違いによって、物を動かす働きが変わることを理解する。 <b>ゴムの力</b> ・ゴムの力で動く物を作り、ゴムののばし方を変えたときの物が動く様子を比べる。 <b>5 植物を育てよう(2)</b> <b>草たけがのびるころ</b> ・育てている植物の草たけや葉の枚数などを観察し、成長の様子を調べる。 <b>花をさかせるころ</b> ・育てている植物の草たけや葉の枚数、花の様子などを観察する。 <b>実をつけるころ</b> ・育てている植物の草たけや葉の枚数、実の様子などを観察する。 <b>植物の育ち</b> ・これまでの観察記録を振り返りながら、植物の育ち方をまとめる。 <b>6 虫を調べよう</b> <b>虫のすみかや食べ物</b> ・昆虫はどのような場所にいたのか、また、何を食べていたのかを話し合い、昆虫と植物の関係を、すみかや食べ物を通して考える。 <b>こん虫の体のつくり</b> ・チョウの体のつくりをもとに、バッタやトンボなどの昆虫の体のつくりを観察する。	<b>8 かけと太陽</b> <b>日なたと日かげ</b> ・日なたと日かげの地面をさわって、あたたかさや湿り気を比べる。 ・日なたと日かげの地面の温度を、温度計ではかって比べる。 <b>かけと太陽の動き</b> ・時間がたつとどうして影の向きが変わるのか、かけの向きとそのときの太陽の向きを調べる。 <b>9 ものと重さ</b> <b>同じもので形をかえたとき</b> ・粘土を広げたり、長くしたり、丸めたりするなどして形を変えたときの重さを調べる。 <b>ちがうもので体積を同じにしたとき</b> ・砂や砂鉄など材質の違うものを同じ体積にし、重さを比べる。 <b>10 電気の通り道</b> <b>明かりがつくつなぎ方</b> ・豆電球と乾電池をつないで、明かりがつくつなぎ方を調べる。 <b>電気を通すもの・通さないもの</b> ・電気の通り道の間に、調べる物をつないで、明かりがつくかどうかを調べる。 <b>11 じしゃく</b> <b>じしゃくにつくもの・つかないもの</b> 身のまわりのいろいろな物に近づけて、磁石につく物とつかない物を調べる。 <b>じしゃくの力</b> ・磁石と鉄との間があいている状態でも、磁石が鉄を引きつけるか調べ <b>じしゃくについた鉄</b> ・磁石についた釘が、磁石の働きをもつかどうか調べる。 <b>じしゃくの極</b> ・磁石どうしを近づけて、引きつけ合うときと退け合うときを調べる。 <b>作って遊ぼう</b> ・これまで学習してきた電気や磁石の性質を思い出す。 ・電気や磁石の性質を使って、どんなおもちゃが作れるかを考える。 ・電気や磁石の性質を使って、工夫しておもちゃを作る。

理科の評価

・理科では4つの観点で評価します。

自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考	観察・実験の技能・表現	自然事象についての知識・理解
知識や技能などの有用さおよび数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気付き、進んで生活に生かそうとする。	自然事象を比較しながら問題を見出し、相違点や共通点を捉え、問題を解決する。	簡単な器具や材料を見つけたら、使ったり、作ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果をわかりやすく表現する。	生物の成長の様子や体のつくりには決まりがあることや光、電気および磁石には決まった性質があること、太陽と地面の様子には関係があることなどを理解している。

・次のような方法で見えていきます。

発言内容	ノートのまとめ方	プリント	テスト	学習態度	行動観察	ワークシート	取り組む様子	観察記録
発表 話し合う様子								

おうちの方へ

自然のおもしろさや不思議さを感じ、理科学習への関心・意欲を持つようにしていきたいと思ひます。ご家庭でも、自然に関心を持ち、それぞれの特性に気づくよう働きかけをしてください。ご協力をお願いします。